

令和 5 年度 12 月定例記者会見 次第

日時：12 月 25 日（月）13 時 30 分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕 朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK 福岡放送局、時事通信社
〔糸島市〕 市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| ①「二十歳のつどい」糸島市で初めて 1 会場で実施 | 【市長発表】
生涯学習課 |
| ②伊都国歴史博物館冬季特別展の開催について | 文化課 |
| ③第 7 回伊都国フォーラムの開催について | 文化課 |
| ④筑肥線 100 周年記念事業実行委員会で記念動画を作成 | ブランド政策課 |

3 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：1 月 25 日（木）13 時 30 分～

場所：糸島市役所 庁議室

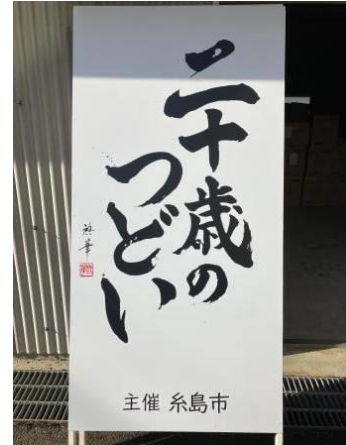
「糸島市^{はたち}二十歳のつどい」

3会場分散開催から、初の1会場開催へ

例年、糸島市では、前原、志摩、二丈の3会場で式典を実施してきました。(令和4・5年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中学校区ごとに開催)。

糸島市運動公園の開園を機に、二十歳の成人・来賓等が収容可能になったことから、今回から一堂に会して開催します。

ご家族等にも、観覧席から新成人の晴れ姿や式典の様子を見ていただけるようになりました。



民法の改正により、令和4年4月1日より成年年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、糸島市では式典の名称を「成人式」から「二十歳のつどい」に変更し、今までの成人式と同様に20歳の成人を対象として実施します。

1 実施日

令和6年1月8日(月・祝)

2 会場・時間

糸島市運動公園多目的体育館 受付 13:30 開式 14:00 から 式典は 30 分程度

3 地区別対象者数

前原:759 人、志摩:121 人、二丈:92 人(合計 972 人)

4 二十歳代表者

- 司 会 者 : 田中 希音(たなか ねお)さん
- 代表あいさつ: 加藤 慎(かとう まこと)さん
吉村 慎太郎(よしむらしんたろう)さん

5 会場横断幕は小川啓華さんが新たに揮毫

式典会場に掲げる横断幕。新成人への応援の気持ちを込めて、糸島観光大使・小川啓華さん(書家)に力強い題字を揮毫いただきました。



【問い合わせ先】

地域振興部 生涯学習課 生涯学習係 担当:後藤、角南(スナミ)

TEL:332-2092 メール:shogaigakushu@city.itoshima.lg.jp

令和5年度伊都国歴史博物館冬季特別展

東西日本の弥生文化

～東京国立博物館収蔵コレクションより～

令和6年1月27日（土）～3月17日（日）

1. 開催趣旨

東京国立博物館が所蔵する、北は北海道から、南は九州までの資料を主体とした展示を行い、日本列島各地で展開した個性豊かな弥生時代像を描き出すとともに、弥生時代の糸島（伊都国）の特徴を見いだす展示を行います。

なお、本特別展は国立博物館貸与促進事業の採択を受けて開催するものです（福岡県内では2番目の採択）。

2. 主な展示品

本展には、東京国立博物館より重要文化財2点を含む19件20点の資料を展示するとともに、県内4施設より特色ある資料を借用・展示します。あわせて、当館所蔵品も展示し、弥生文化が展開した日本列島の中における糸島の特徴を見いだすものとなっています。今回の特別では総数約40点の資料を展示します。

3. 見どころ

① 個性豊かな弥生文化を実感

弥生土器は「装飾の少ないシンプルな土器」と教科書などには書かれていますが、実際は個性豊かな土器がつくられています。今回は日本列島各地から出土した特徴的な土器を展示します。

【土偶形容器】長野県上田市腰越出土
弥生時代の服装や顔面装飾など当時の風習等を知る上で重要な資料です。
高さ 36.5 cm



② 大きな銅鐸、小さな銅鐸を比較展示

銅鐸は当初、音を鳴らすものでしたが、次第に巨大化してマツリの時に見るものへと変化していきます。今回は1mを超える銅鐸と、6cmの銅鐸の比較展示を行います。



【突線鈕式銅鐸】和歌山県みなべ町出土
高さ 112.2 cmの大型の銅鐸。
今回の特別展で最大の資料です。

③ 糸島市出土品の里帰り展示

井原赤崎出土の細形銅剣と二丈石崎出土の勾玉と管玉の里帰り展示を行います。普段は東京でしか見ることができないものです。



【細形銅剣】糸島市井原赤崎出土
ほとんど欠損がない銅剣。長さ 29 cm

4. 関連事業

特別展開催期間中、有名な講師を招いて展示会のテーマに合わせた特別講演会を開催します。

《特別講演会》

令和6年3月2日（土）14時～

演題 「弥生時代の日本列島—地域性と広域交流—」

講師 石川日出志氏（明治大学教授）



【共通事項】

- ・ 受講料 400円(特別展観覧料を含む)
- ・ 定員 100人(要事前申し込み、先着順)
- ・ 会場 伊都国歴史博物館4階研修室(糸島市井原 916)
- ・ 申込方法 伊都国歴史博物館窓口または電話(092-322-7083)申し込み
※1月5日より申し込み開始

5. 備考

○東京国立博物館

日本と東洋の文化財(美術品、考古遺物など)の収集保管、展示公開、調査研究、普及などを目的として独立行政法人国立文化財機構が運営する、日本の国立博物館である。東京都台東区の上野恩賜公園内にある。1872年(明治5年)に創設された日本最古かつ最大の博物館であり、本館、表慶館、東洋館、平成館、法隆寺宝物館の5つの展示館と資料館その他の施設からなる。2023年4月時点で、国宝89件、重要文化財649件を含む収蔵品の総数は約12万件

○国立博物館収蔵品貸与促進事業

日本とアジアの歴史・伝統文化の発信、地方創生・観光振興に寄与することを目的とし、国内各地のミュージアムに対して、国立博物館の収蔵品を貸し出し、作品輸送費等を支出する事業。2017年度の事業開始から2023年度までの採択数は24都道府県で36施設

【参考】

- ・福岡県内では2番目(九州歴史資料館2020年度、伊都国歴史博物館2023年度)
- ・考古資料の場合 九州・沖縄ブロックで4番目
(大分県立美術館・九州歴史資料館・那覇市立壺屋焼物博物館、伊都国歴史博物館)
- ・2023年度は島根・長野・山口2・広島・兵庫・福岡の6県7施設

6. 注意事項

写真を掲載する場合は以下のクレジットが必要です。

Image:TNM Image Archives

7. その他

- 主 催 糸島市、糸島市立伊都国歴史博物館
- 特別協力 東京国立博物館、独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター
- 協 力 九州歴史資料館、福岡市埋蔵文化財センター、水巻町歴史資料館、福岡県立糸島高等学校
- 会 場 糸島市伊都国歴史博物館 1階企画展示室
- 会 期 令和6年1月27日(土)～3月17日(日)
- 開館時間 9時～17時(最終入館は16時30分まで)
- 休 館 日 月曜日(2月12日(月・祝)は開館し、翌2月13日(火)が休館)
- 料 金 大人400円(団体300円)、高校生200円(団体150円)
※団体割引の適用は有料入館者20名以上。※中学以下無料
※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者手帳等を提示した場合、付添人1名を含め無料。
- 問い合わせ 糸島市立伊都国歴史博物館(地域振興部文化課博物館係)担当:平尾
電話番号:092-322-7083
メール:bunka@city.itoshima.lg.jp

令和5年度伊都国歴史博物館冬季特別展

東西日本の 弥生文化

～東京国立博物館収蔵コレクションより～

令和6年

1.27(土) ▶ 3.17(日)

月曜休館 ※ただし、2月12日(月・祝)は開館し、翌2月13日(火)が休館

開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【会場】伊都国歴史博物館 1階企画展示室

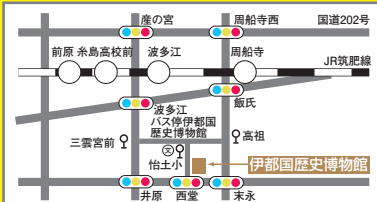
【観覧料】大人400円(団体300円) 高校生200円(団体150円)

※団体割引の適用は有料入館者20名以上※中学生以下無料

※身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳等を提示した場合、付添人1人を含め無料

主催／糸島市立伊都国歴史博物館、糸島市

特別協力／文化財活用センター、東京国立博物館



糸島市立 伊都国歴史博物館

所在地:福岡県糸島市井原916 TEL092-322-7083



独立行政法人国立文化財機構

文化財活用センター

NATIONAL CENTER FOR THE PROMOTION OF CULTURAL PROPERTIES

本館は、文化財活用センターが実施する、国立博物館収蔵品貸与促進事業の特別協力を受けて開催します。

【関連イベント等】

特別講演会

令和6年3月2日(土)14時～15時30分

「弥生時代の日本列島
—地域性と広域交流—」



講師:石川日出志氏(明治大学教授)

会場
伊都国歴史博物館4階研修室

定員:100名(要事前申し込み、先着順)

受講料:400円(特別展観覧料含む)

【申し込み方法】

1月5日(金)より窓口または電話による

申込み受付開始

【申し込み・問い合わせ】

伊都国歴史博物館 TEL092-322-7083

東西日本の弥生文化

～東京国立博物館収蔵コレクションより～

本展では、北は北海道、南は九州まで、東京国立博物館が所蔵する重要文化財を含む資料をはじめとして、日本列島各地の弥生時代(北海道は併行期である続縄文時代)の資料を一挙公開します。

「本当に同じ時代の土器?」と疑問に思うような個性たっぷりの弥生土器や、教科書で見たような大きな銅鐸と北部九州などで見られる小さな銅鐸との対比展示、糸島出土品の里帰り展示など、盛りだくさんの内容となっています。

みどころ① 「個性豊かな弥生文化」



どくがた ようき
土偶形容器
長野県上田市腰越出土
東京国立博物館蔵



ひさごがたつぼ
瓢形壺
茨城県筑西市女方出土
東京国立博物館蔵



だいづきつぼ
台付壺(重要文化財)
愛知県名古屋市長蔵貝塚出土
東京国立博物館蔵

教科書では、稲作の伝来により始めると紹介される弥生時代……。

弥生土器は、装飾の少ないシンプルなものと言われますが、日本各地で同じような文化だったのでしょうか?

本展では、北海道から九州までの、弥生時代併行期に出土した土器が一堂に会します。全国各地の特色ある弥生土器をぜひ見比べてみてください。

みどころ② 「大きな銅鐸、小さな銅鐸」



しょうどうたく
小銅鐸(糸島市指定文化財)*
浦志遺跡A地点出土
(福岡県糸島市)
伊都国歴史博物館蔵

銅鐸は、はじめ音を鳴らすものでしたが、次第に巨大化して見るものへと変化します。

本展では、高さ1mを超える銅鐸から、6cm程度の小銅鐸までを比較展示します。また、シカや魚、迷路のような流水文など、銅鐸の意匠にもぜひご注目ください。



とっせんちゅうしきどうたく
突線鈕式銅鐸
和歌山県みなべ町出土
東京国立博物館蔵

★以外は東京国立博物館蔵 image:TNM Image Archives

みどころ③ 「糸島出土品の里帰り!」

全国から資料が集まる東京国立博物館……。じつは、糸島出土の資料も収蔵されています。今回は、井原赤崎遺跡出土の細形銅剣と二丈石崎出土の勾玉・管玉の里帰り展示を行います。

普段は東京でしか見ることでできない資料たちを、この機会にぜひご覧ください。

まがたま
勾玉
福岡県糸島市
二丈石崎字小路出土
東京国立博物館蔵



ほそがたどうけん
細形銅剣
福岡県糸島市
井原赤崎出土
東京国立博物館蔵



糸島市立

伊都国歴史博物館

〒819-1582 福岡県糸島市井原916番地
TEL092-322-7083



■バス

JR筑肥線周船寺駅からミニバス川原線雷山の森行き、伊都国歴史博物館バス停下車徒歩2分。

または、JR筑肥線波多江駅からミニバス井原山線井原山行き、伊都国歴史博物館下車。

■車

【福岡市方面から】九州自動車道福岡インターまたは太宰府インターから福岡都市高速道路經由西九州自動車道今宿インターを降り、国道202号飯氏交差点を左折、約8分。

【唐津市方面から】国道202号波多江交差点を右折、約8分。

第7回伊都国フォーラム

「再検証！雷山神籠石と怡土城」の開催について

1. 概要

糸島市には現在8件の国史跡があります。そのうち、雷山神籠石と怡土城は、古代に造られた山城で、糸島が東アジアの脅威に対抗する防衛ラインとして、重要な地域であることを示しています。

今回のフォーラムでは、雷山神籠石や怡土城の調査成果を報告するとともに、最前線で活躍されている研究者をお招きし、この遺跡のもつ重要性について講演をしていただきます。

また、後半のシンポジウムでは、「諸説あり！古代山城の捉え方」と題して、文化財担当専門記者である中村俊介さん(朝日新聞編集委員)と4名の研究者が、「糸島の古代山城」の謎について語り合います。

2. フォーラムについて

- 日 時 令和6年1月7日(日)10時00～16時30分(9時00分から受付開始)
- 会 場 伊都文化会館大ホール
- 内 容 調査報告「糸島の古代山城に迫る－雷山神籠石と怡土城－」
講師：瓜生秀文(糸島市地域振興部文化課主幹)
講演①「雷山神籠石と怡土城、その歴史的意義」
講師：亀田修一(岡山理科大学名誉教授)
講演②「大宰府と古代山城－大宰府防衛における古代山城の役割－」
講師：赤司善彦(大野城心のふるさと館館長)
講演③「古代山城がつくられた時代の糸島」
講師：松川博一(九州歴史資料館学芸調査室長)
【シンポジウム】「諸説あり！古代山城の捉え方」
コーディネーター：中村俊介(朝日新聞編集委員)
パネリスト：亀田修一、赤司善彦、松川博一、瓜生秀文
- 定 員 600人
- 参 加 費 無料(申込みの必要はありません)

【問い合わせ先】

地域振興部 文化課文化財係 担当：江崎

TEL：代表323-1111（内線2144）

直通332-2093

メー ル：esaki.y.725@city.itoshima.lg.jp

第7回 伊都国フォーラム

再検証！

雷山神籠石と怡土城

令和6年 1月7日 日
10:00～16:30

伊都文化会館 大ホール

〔糸島市前原東2丁目2番7号〕

※事前予約の必要はありません。

参加無料 定員 600名



お問い合わせ
糸島市役所 文化課
TEL 092-332-2093

第1部 講演 10:00～

調査報告「糸島の古代山城に迫る―雷山神籠石と怡土城―」
瓜生 秀文／糸島市役所地域振興部文化課主幹

講演1 「雷山神籠石と怡土城、その歴史的意義」
亀田 修一／岡山理科大学名誉教授

講演2 「大宰府と古代山城―大宰府防衛における古代山城の役割―」
赤司 善彦／大野城心のふるさと館館長

講演3 「古代山城がつくられた時代の糸島」
松川 博一／九州歴史資料館学芸調査室長

第2部 パネルディスカッション 15:00～

「諸説あり！古代山城の捉え方」

コーディネーター／中村 俊介（朝日新聞社編集委員）

雷山神籠石と 怡土城

「伊都国フォーラム」第7弾！

再検証！

糸島の古代山城が秘める謎に迫る！

飛鳥時代から奈良時代にかけて、大陸や朝鮮半島の脅威に備えて築かれたとされる古代山城。その痕跡は北部九州を中心に、今も西日本各地に残されています。

糸島市にも「雷山神籠石」と「怡土城」の二つの古代山城が存在し、研究者の関心の的となっていますが、未だ多くの謎に包まれています。

今回のフォーラムでは、著名な研究者をお招きし、両遺跡の歴史的価値や築城当時の糸島についてご講演いただきます。パネルディスカッションでは長年文化財の報道を担当されている中村俊介さん(朝日新聞社)を交え、古代山城について議論していただきます。

【第1部 講演 10:00～】

10:10～ 基調報告

「糸島の古代山城に迫る ―雷山神籠石と怡土城―」

瓜生 秀文 Uryu Hidefumi
糸島市役所地域振興部文化課主幹

山口大学大学院人文科学研究科修士課程修了後、前原町役場に入庁。長年、糸島市内の遺跡の調査に携わる。主な著作に「雷山神籠石「南水門部」の踏査結果及び雷山神籠石に関する交通路について」(『糸島市立伊都国歴史博物館紀要』11)、「怡土城の土塁 外皮版築について」(『地域相研究』27)など。

11:00～ 講演1

「雷山神籠石と怡土城、その歴史的意義」

亀田 修一 Kameda Shuichi
岡山理科大学名誉教授

九州大学大学院文学研究科修士課程修了後、岡山理科大学助手・講師・助教授・教授を歴任。現在、岡山理科大学名誉教授。古代山城や、古代における朝鮮半島との対外交流に造詣が深い。主な著作に『日韓古代瓦の研究』『古墳時代研究の現状と課題(上・下)』(共著)など。

13:00～ 講演2

「大宰府と古代山城 ―大宰府防衛における古代山城の役割―」

赤司 善彦 Akashi Yoshihiko
大野城心のふるさと館館長

明治大学文学部史学地理学科考古学専攻卒業後、福岡県教育委員会に入庁し、文化財保護行政に携わる。現在、大野城心のふるさと館館長。大宰府や古代山城の研究に長年携わり、近年では水中遺跡の調査も数多く行っている。主な著作に「大宰府の都市の造営」(『大宰府への道―古代都市と交通―)」「博多をめざした交易船をさがす」(『西日本文化』478)など。

14:00～ 講演3

「古代山城がつくられた時代の糸島」

松川 博一 Matsukawa Hirokazu
九州歴史資料館学芸調査室長

山口大学大学院人文科学研究科修士課程修了。太宰府市文化ふれあい館学芸主任、九州国立博物館研究員、福岡県教育庁文化財保護課を経て現在、九州歴史資料館学芸調査室長。大宰府の政治や軍事について長年研究を行っている。主な著作に『古代大宰府の政治と軍事』『筑紫と南島』(共著)など。

【第2部 パネルディスカッション 15:00～】

テーマ
「諸説あり！古代山城の捉え方」

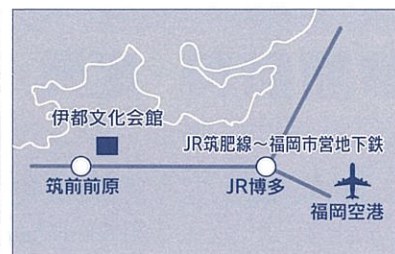
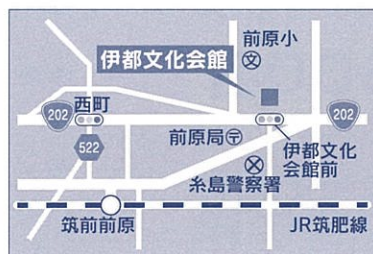
パネリスト
亀田 修一、赤司 善彦、松川 博一、瓜生 秀文

コーディネーター
中村 俊介
Nakamura Shunsuke

早稲田大学教育学部地理歴史専修卒業後、朝日新聞社入社。文化財担当専門記者として各地の講演会の講師やパネラーなどを務めている。主な著作に『遺跡でたどる邪馬台国論争』『文化財報道と新聞記者』など。



お問い合わせ
糸島市役所 文化課
TEL 092-332-2093



「筑肥線開業 100 周年記念事業 2023」 記念事業動画を公開

1923（大正 12）年 12 月 5 日に「福吉駅—浜崎駅間」が開業した筑肥線。

今年 2023 年に開業 100 周年を迎えるにあたって、市民生活を支える J R 筑肥線を地域と一緒に盛り上げていきたいと、地元（福吉、浜崎）の有志と J R 九州が「筑肥線 100 周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、2023 年 11 月 19 日に「筑肥線開業 100 周年記念事業」を実施しました。その記念事業の一日の様子をまとめた動画を公開します。

※「筑前前原駅—虹の松原駅間」来年 2024 年、開業 100 周年を迎える。

【筑肥線開業 100 周年記念事業】

◎103 系国鉄色で行く！筑肥線開業 100 周年記念ツアー

- ・特別臨時列車で運行 約 40 名乗車
- ・特別臨時列車は、実行委員である「岡山那音（おかやまなおと）」氏が制作した記念ヘッドマークを着けて走行、車内には絵画コンクールに出展された絵を掲示
- ・車内にてオリジナル弁当を配布
- ・唐津車両センターでは、床下や運転台、車両上部の見学を実施
- ・浜崎駅では、浜崎祇園祭の囃子を演奏



◎記念ツアーと合わせて実施された関連イベント

- ・「103 系国鉄色に手をふって筑肥線 100 周年を祝おう！」
走行する特別臨時列車に向かって沿線から手をふっていただくイベント
- ・ J R 九州ウォーキング
- ・福吉産業まつり開催

◎その他の記念事業（主なものを掲載）

- ・絵画コンクール
対象は幼稚園時/保育園児/小学生/中学生、入賞者の作品をツアー列車内に掲示
- ・古い筑肥線の写真展
筑前前原駅、浜崎駅などで写真展開催
- ・HP開設「筑肥線 100 周年記念」
<https://chikuhisen100.jimdofree.com/>



【筑肥線 100 周年記念事業実行委員会】

実行委員長 佐藤 剛史（さとう ごうし）
地元の有志、J R 九州、鉄道ファンなどで結成

【問い合わせ先】

経済振興部 ブランド政策課 観光振興係
担当：長谷川
TEL：直通：092-332-2080 内線：1281
メール：brand@city.itoshima.lg.jp

筑肥線100周年記念事業 感動動画ができました!

大正12年に、福吉駅－浜崎駅間で開業した筑肥線は、2023年に、開業100周年を迎えました。

筑肥線100周年記念事業実行委員会は、JR九州と協力して筑肥線100周年記念事業を実施しています。

2023年11月19日に、特別列車（国鉄色、記念ヘッドマーク）が運行し、沿線住民が手を振って、開業100周年をお祝いしました。

その1日の様子をまとめた動画が完成しました（下記、URL、もしくはQRコードから）。

そして2024年は、筑前前原駅－唐津駅100周年を迎えます。
記念事業は続きます。



祝！筑肥線開業100周年 糸島－唐津 横断ウェブ
<https://youtu.be/GprGBwL4SIY>

【問い合わせ先】

筑肥線100周年記念事業実行委員長 佐藤剛史（さとうごうし）

E-mail : goshisato1973@gmail.com

TEL : 090-8408-2834

筑肥線100周年記念事業official web

<https://chikuhisen100.jimdofree.com/>

※「筑肥線100」で検索

※上記動画のほか、様々な筑肥線100周年記念事業動画もupしています。